

ラッシュメモリアル ホスピタルの メディカルデータを Acronisで保護

Acronisはコミュニティホスピタルに
高速プロビジョニング、RTOの短縮、
簡単なデータの移行を提供

背景

インディアナ州ラッシュビルのラッシュメモリアルホスピタルは、1950年に創業し地域に根差した医療機関です。最先端医療を提供する病院であると同時に、ITを積極的に活用しています。このような進化に伴い、患者への対応が改善し、レポートやミーティングの記録の保持要件など、広範に対応しています。

病院は患者の生命を預かる機関であるため、病院の業務アプリケーションは常にアクセス可能でなければなりません。しかし従来のテープやディスクに保存したバックアップ・リカバリシステムでは、もはや迅速な対応が難しくなっており、病院が求めるデータ保護の基準を満たすことはできません。このような背景により、ラッシュメモリアルホスピタルはシステムをAcronis Cyber Protectに置き換えました。

テープからイメージバックアップへ

ラッシュメモリアルホスピタルでは、WindowsベースのHealthland EMR（電子カルテ）ソリューションシステムやMerge Healthcare Radiologyソフトウェアといった、多数のデータベース病院アプリケーションを使用して患者の画像のオンラインアクセスを実現しています。同院のチーフテクノロジーオフィサーであるJim Boyer氏は、アクロニスの導入前は、他社のバックアップソリューションを使用していましたが、求めるRTOを迅速に得ることができなかった、と述べています。

「テープでのデータ保存では個別ファイルやシステム全体をある特定の時点で復元するため、多大な労力を要します。しかも必要なテープは、オンサイトで保存していなければなりません。そのため、当社ではフルイメージバックアップ対応のソリューションで実験を開始しました」

業界

医療・ヘルスケア

主な課題

- リカバリ機能を高速化
- 展開・導入とシステムアップグレードを加速
- サーバーを重複させる必要性をなくす

主な要件

- 高速なマシンプロビジョニング
- 目標復旧時間（RTO）の短縮
- 物理的ストレージの投資削減
- 業務アプリケーションの常時アクセス

保護リソース

- 260台のWindowsワークステーション
- 複数台のWindows 2003および2008ベースのサーバー
- Healthlandを含む主要アプリケーション
- EMRソリューションおよびSQLベースのMerge Radiologyソフトウェアパッケージ

利点

- 高速かつ高信頼性のバックアップ/リカバリを実現
- ディスクイメージング利用した高速プロビジョニング
- 異なるハードウェアへのリカバリが可能であるため高価なスベアの削減

当初、Microsoft Volume Shadow Copy Service (VSS) イメージベースのバックアップを使用して、データのスナップショットを採取していました。効果的ではありましたが、オペレーティングシステム、アプリケーションおよび設定を含むサーバー自体を復元できませんでした。そのため、より良いディスクイメージングソリューションが必要でした。「危機的な状況では、ディスクイメージングによってオフサイトからでもフルシステムの即時復元ができるようになります。異なるハードウェアや仮想インフラのような様々な方法で復元できるようになるため、OSやアプリケーションのサーバーイメージを採取することが不可欠です」

より優れたイメージングソリューション

同院はアクロニスに注目し、Acronis Snap Deployを購入して260台の新PCに導入しました。Boyer氏は次のように述べています。「Acronis Snap Deployによって、部門ごとのPCのイメージデータを取り、それを新しいコンピュータに展開・導入することができるようになります。このイメージング機能を基盤とするアクロニスを選んだのは、最適な選択だったと思います。」ITチームは60日間の評価を開始し、その後、Acronis Cyber Protectへの移行を決めました。

RTOの改善

Boyer氏は次のように述べています。「移行以来、当院は目標復旧時間 (RTO) を大幅に短縮しました。50GBのデータを復元するのに要する時間は平均30分です」これに比べ、テープやディスクベースのバックアップは、数時間または数日必要になります。

アップグレードの簡略化

Boyer氏は「バックアップに加え、Acronis Cyber Protectは異なる新しい機器やソフトウェアへのマイグレーションを簡略化します。また、新しいシステムを最初から構築するのではなく、イメージを作成し、そのイメージを新しいハードウェアに復元し、RAIDを構築し、サーバーを20分ほどで立ち上げます」と述べています。

Acronis Cyber Backupのすべての機能を探る

さらに、同院は最近、SANサーバー上でアクロニスのデータ圧縮を使用し始め、新規のディスク購入を削減できると期待しています。

さらに、VMwareを使用して、約80%のサーバーを仮想化しており、古くはなってもまだ使用できるハードウェアを仮想サーバー用の物理ホストとして再利用するために備蓄しています。その結果、同院は高価なスタンバイサーバーの必要性をなくすことができました。Boyer氏は「当病院はアクロニスを利用して、利用可能なプラットフォーム上でホスティングされた仮想マシンに迅速に復元しています。

アクロニスではバックアップイメージを数分で稼働させることができるため、修理が行われ、元のマシンがオンラインに戻るまで、業務を中断することなく行うことができます」と述べています。

アクロニスについて

アクロニスは、データ保護とサイバーセキュリティを1つのソリューションに統合し、現代のデジタル社会の安全、アクセス性、プライバシー、真正性、セキュリティ (SAPAS) 問題の解として、統合と自動化されたサイバープロテクションを提供します。アクロニスは、サービスプロバイ

ダーやITプロフェッショナルの需要に適う柔軟なデプロイメントモデルを用意して、データ、アプリケーション、システムに革新的な次世代のアンチウイルス、バックアップ、ディザスタリカバリ、そしてAI応用エンドポイントの保護管理ソリューションなどの優れたサイバープロテクションを提供します。

シンガポールで設立され、スイスに本社を構えるアクロニスは現在、世界34都市に2,000人以上の従業員を擁しています。Acronis Cyber Protectソリューションは、150か国以上の国に26言語で提供され、1万6千社を超えるサービスプロバイダーで利用されており、75万社を超える企業を保護しています。

「アクロニスではバックアップイメージを数分で稼働させることができるため、修理が行われ、元のマシンがオンラインに戻るまで、業務を中断することなく行うことができます」

Peter French、
マネージングディレクター